

趣の持てる楽しい会社にしよ



～スマイルとコミュニケーションで～

株式会社 ロッコー

2016 年度 環境活動レポート

2016年3月～2017年2月



作成日：2017年3月20日

更新日：2017年4月18日

肉屋さん・魚屋さん・八百屋さんのベストパートナー 食品包装資材は、スマイルコミュニケーション 南大阪のロッコーへ
スマイルと元気もお届けします！ 困った時のロッコー頼み、悩み無用です。まずは一本お電話を！

食品包装資材卸売販売
RC 株式会社ロッコー
Packing Materials

TEL 0725-33-0236
FAX 0725-33-0567

●営業時間 9:00～18:00
●定休日 日曜日
日曜午前中はご注文承ります

□ごあいさつ

エコアクション21を取得し、活動をスタートさせてから9年目になりました。環境問題がクローズアップされる中、限りある資源を有効活用し、自分たちができる事を考えより良い地球環境を実現するために、環境方針に沿ってこれからも活動していきます。

株式会社ロッコー
南大阪営業所 所長代行 西村 元希

環境方針

<環境方針>

当社は食品に携わる包装資材を扱う企業として、その事業活動の中で地域環境に与える影響を的確に把握すると共に、社員一人ひとりが、環境への優しさを優先し、限りある資源の保護に努め自主的・積極的に環境保全活動に取り組みます。

当社の食品包装資材の販売活動に於ける環境負荷の低減のため、行動指針を次のように定めます。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
2. 以下について具体的な環境目標を定め、実施計画を立て、継続的改善に努めます。
 - ① 低炭素社会のための省エネルギー
 - ② 水資源の確保のための節水
 - ③ 循環型社会のための省資源、廃棄物の削減
 - ④ 環境に配慮した商品の販売促進
 - ⑤ グリーン購入の推進
3. 全従業員にこの環境方針を周知します。

制定日：2006年12月1日

改定日：2016年4月1日

南大阪営業所

所長代行

西村 元希

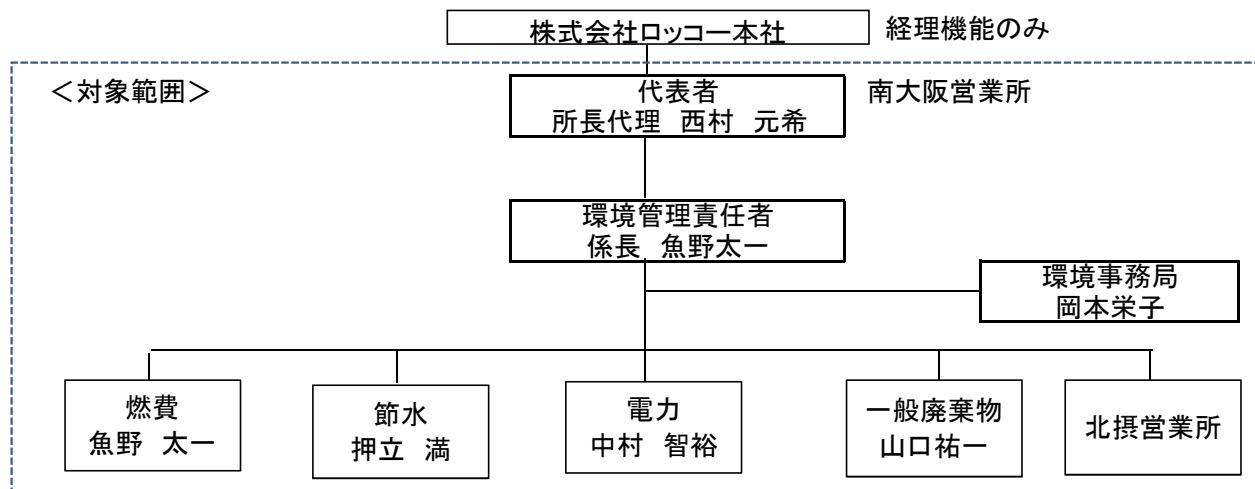
□登録事業所の概要

- (1) 事業所名及び代表者名
株式会社ロッキー
所長代行 西村 元希
 - (2) 所在地
南大阪営業所 〒595-0032 大阪府泉大津市穴田206
北摂営業所 〒566-0062 大阪府摂津市鳥飼5丁目2番21号
本社はタツミ産業(株)東京本社内にあり、タツミ産業でエコアクション21を取得していて、
その中での経理業務のため対象外
 - (3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
環境管理責任者 魚野 太一 TEL0725-33-0236
環境事務局 岡本栄子 TEL (同上)
 - (4) 事業内容
食品包装資材の販売
厨房関連商品の販売
 - (5) 事業の規模
売上高 632 百万円
- | | | |
|-------|--------|-------|
| | 南大阪営業所 | 北摂営業所 |
| 従業員 | 8名 | 無人 |
| 延べ床面積 | 689m2 | |
- (6) 事業年度 3月～2月
 - (7) 認証取得範囲: 全社認証取得範囲
事業者名 株式会社ロッキー
対象範囲 南大阪営業所、北摂営業所
事業活動 食品包装資材の販売
厨房関連商品の販売

<環境配慮商品の販売>



環境経営システム組織図



環境経営システム 役割・責任・権限表

役割・責任・権限	
代表者(所長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任。 環境経営システムの実施に必要な、人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 環境管理責任者を任命。 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標・環境活動計画書を承認。 代表者による全体の評価と見直しを実施。 環境活動レポートの承認。
環境活動責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理。 環境関連法規等の取りまとめ票を承認。 環境目標・環境活動計画書を確認。 環境活動の取組結果を代表者へ報告。 環境活動レポートの作成。
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局。 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 環境目標、環境活動計画書原案の作成。 環境活動の実績集計。 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
テーマ担当者	<ul style="list-style-type: none"> テーマの計画・実施 テーマの実施状況の確認・評価
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2014年	2015年	2016年
二酸化炭素排出量(総量)	kg-CO2	75,386	69,058	35,614
電力	kg-CO2	17,236	18,228	11,216
自動車燃料	kg-CO2	56,889	50,764	24,377
その他 燃料	kg-CO2	1,262	65	21
一般廃棄物	kg	3,203	853	3,516
総排水量	m3	128	121	33

注)その他燃料は灯油、都市ガス

□環境目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年)	2016年		2017年 (目標)	2018年 (目標)
			(目標)	(実績)		
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2 基準年度比	19,442 2005年	16,526 85%	11,216 58%	11,665 60%	11,665 60%
自動車燃費の向上 (軽油車輻対象)	km/l 基準年度比	5.2	6.8 131%	6.6 126%	6.9 133%	7.0 135%
一般廃棄物の削減 (可燃ごみ対象)	kg 基準年度比	2,550 2005年	638 25%	599 23%	638 25%	638 25%
水道水の削減	m ³ 基準年度比	189 2005年	113 60%	97 51%	113 60%	113 60%
グリーン購入の推進	% 事務用品	-	30%	18%	40%	50%
環境配慮商品の販売促進 (リサイクル容器・他)	金額 (万円)	4,159 2008年	4,824 116%	3,796 91%	4,159 100%	4,367 105%

※電力の二酸化炭素排出係数

0.522 kg-CO2/kWh



経営理念

私たちは『人と人とのつながり』『心と心のふれあい』を大切に、お客様の満足と信頼を得る企業を目指します。

私たちは包む文化を通して、食の安心・安全を考え、より良い品質とサービスを提供しつづけます。

私たちは常に向上心を持ち、あらゆる課題に挑戦し、喜びを分かち合う企業を目指します。

夢の持てる楽しい会社にしよう!!
～スマイルとコミュニケーションで～

□環境活動の取り組み計画と評価

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
電力の削減	○	倉庫内の照明の使い分けは良くできており大幅削減となった。今後は消灯を行って行きたいと思います。
・倉庫無人消灯・照明6区画の使い分け	△	倉庫無人時の消灯に関しては守れていない時がありました。工事をし、倉庫の電気が6区画に分け箇所ごとに点灯できるようになった。
・クールビズ・ウォームビズ運動	○	実施継続
・冷房27℃ 暖房22℃	○	部屋の温度にムラがあり、設定温度は27℃となった。サーキュレーターの併用でムラをなくす
・PC不要時は節電モード・もしくは電源を落とす	○	実施継続
・グリーンカーテン・プチプチにより、室内温度を保つ	◎	今年もグリーンカーテンを試みて今回は業者さんに施工してもらいましたが、上手くいかなかった様で。来年期待しています。
自動車燃費（軽油車輛）の向上	○	車両の変更、増員があり目標数値に達成することができず。
・急加速・急停車の防止	◎	実施継続
・アイドリングストップ	○	実施継続
・効率配送の推進	○	実施継続
・受注間違い防止（電話による受注確認方法の検討）	△	次年度の重点取り組みとしてゆく。
一般廃棄物（可燃ごみ）の削減	○	効果が表れてきています。この調子で継続と工夫を凝らしてください。
・裏紙使用の徹底	○	紙、空き缶、ペットボトル、生ゴミの分別徹底
・過剰サンプルの抑制	○	商談時にサンプル必要数を最小限に抑え、廃棄量を減らす。
・不良在庫による廃棄物発生の抑制	△	新商品サンプル等の数量抑制はあまりできていませんでした。
水道水の削減	○	毎年基準値をクリアできているので越えないように調整する。
・洗浄工程の改善	○	アルコール消毒液を設置し除菌の徹底しました。
・手洗い水量の適正化	◎	実施継続
・トイレ大レバーの使い分け	◎	実施継続
グリーン購入の推進	×	グリーン購入心がけるも該当商品が見つからず、低い率となった。今後は目標達成に向けてエコ商品の選定を心がける。
・事務用品はエコマーク商品を優先	○	実施継続
・自動車はエコカーを優先	×	買い替え時に実施
・家電製品はエコ製品を優先	×	買い替え時に実施
・照明器具を省エネ型を選択(LEDなど)	×	LED照明の見積もりを依頼しましたが経費面での検討中です。
環境配慮商品の販売 リサイクル商品及びエコ商品の販売量増加	×	得意先が無くなった事を考慮すると、トータルでの数字は予想通りだった。お客様にエコ商品の提案をし、もう少し数字を伸ばしたいと思います。

□緊急事態対応訓練

- 実施日：平成29年2月20日 午前9：30
- 参加者：全員
- 実施状況の様子

- 実施場所：倉庫
- 実施内容：火災対応訓練
 - ・通報訓練、消火訓練、避難訓練



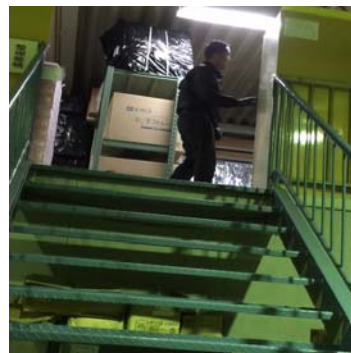
①倉庫より倉庫奥から出火！消防に通報
通報避難誘導



②消火器を持ち現場へ



③初期消火



④2F避難確認



⑥消火器の使用方法説明

設備説明、総括

皆さん、お疲れ様でした～！！！！

災害は予期しない時に、突然に襲ってきます。被害を最小限におさえるには、1人ひとりがあわてずに適切な行動することが極めて重要です。

災害が発生した時、自分の周囲にどのような危険があるか、その時どのように行動をするか、普段の生活の中で注意し、確認しておく事が災害防止の第一歩です。

今回の防災訓練だけでなく常に災害を意識して、いざというときに落ち着いて行動できるよう、正しい心構えを身につけましょう。

□環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。


適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物
消防法（危険物）	消毒用アルコール
フロン排出抑制法	業務用空調機
自動車リサイクル法	トラック、バン
顧客要求事項	アイドリングストップ、欠品、破損、その他口頭、契約事項

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

□代表者による全体の評価と見直し

実施日：2017年3月20日

【前回の指示への取組結果】	
・環境配慮商品の販売促進による売り上げ増加については、基準年度より上回ったが目標には達成せず。営業やPR方法を検討する。	
<情報>	<見直し・指示>
◇自社を取り巻く環境問題の変化 （社会的情勢、利害関係者の要求等） 2015年4月1日よりフロン排出抑制法で、業務用エアコン等フロン使用機器の簡易転換が義務付けられた	
◇環境目標・活動計画の達成状況 前述の通り。	
◇その他 特に問題となる事項はありません。 外部からの苦情・要請等はありません。	
◇環境方針 基本事項の変更はありません。	◇環境目標・活動計画 自動車燃費について今期は目標達成であったので来期は目標を基準年度の130%に上方修正する。 電力・水道、廃棄量面で達成できていないので再度機器の変更と日々の行動の見直しをしていく必要がある。
◇その他 特になし	◇その他 特になし
【今回の評価結果と今後の経営視点】	
営業会議の中でea21の取り組みについてなど確認事項などは出てきましたが担当者が理解できていないこともあり身近な問題として捕らえていないような気がします。 今年度は組織変更もあり、いろいろな課題が見えてきたように思います。なぜこのような取り組みをするのかを確認していくことが必要だと感じました。	

□その他の取り組みを紹介

＜環境保全活動＞

定期的に会社近辺の清掃活動を行う。



＜環境への取り組み＞

＜エコキャップ推進運動＞



エコキャップ 受領書

株式会社 〇〇〇〇〇

〒〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇

TEL 0725-〇〇-〇〇〇

申請受領書数: 4,945 冊

累計枚数: 47,985 枚

回収人数: 53.3 人分

年度	枚数	回収人数
平成24年度	11,275 枚	4.94 人分
計	47,985 枚	

累計実績: 335.8kgのCO2削減。(平成24年9月現在)

累計枚数: 46,855 枚

累計実績: 364kgのCO2削減。(平成25年9月現在)

ワクチン: 53.3 人分 (平成23年3月～平成24年9月迄)

ワクチン: 57.8 人分 (平成24年3月～平成25年9月迄)

累計枚数: 42,985 個
 累計実績: 335.8kgのCO2削減。(平成24年9月現在)
 累計枚数: 46,855 個
 累計実績: 364kgのCO2削減。(平成25年9月現在)

ワクチン: 53.3 人分 (平成23年3月～平成24年9月迄)
 ワクチン: 57.8 人分 (平成24年3月～平成25年9月迄)

エコトレーご使用による、ロッコー様のCO2削減効果



エコトレー使用枚数	重量(kg)	CO2削減効果(kg)	CO2削減効果(t)
6,388,500	29,139	227	66,145

ロッコー様で、約66.1tのCO2削減効果がありました。

⇒ 成木2,916本、年間に吸収するCO2と同じ削減効果
【※成木1本=22.68kgのCO2を吸収/年間】

FPCO public Relation group

エコトレーご使用による、ロッコー様のCO2削減効果

エコトレー使用枚数	重量(kg)	CO2削減効果(kg)	CO2削減効果(t)
6,388,500	29,139	227	66,145

ロッコー様で、約66.1tのCO2削減効果がありました。



レジ袋：280万枚に相当
【従来のポリスチレンレジ袋 CO2削減効果：0.0104kg/枚で換算】

FPCO public Relation group

CO2削減効果 計算に関して

・エコトレー(エフビコ認証) 1kg=2.270kg のCO2排出削減効果

環境ラベルタイプⅡ(エコリフ)製品分類基準
(プラスチックシート成形品【食品用途】)に基づき算出

ロッコー様 平成22年度の合計エコトレー使用で計算
29,139kg×2.270kg=約66.1t のCO2排出削減効果

・成木1本 =22.68kg のCO2を吸収/年間

<算定資料：早稲田大学人間科学環境生態学研究室 調査資料より>
成木直径4mの本1本の樹冠面積=13.1㎡=33.18kg/年 CO2吸収

ロッコー様 平成22年度の合計エコトレー使用で計算
66,145kg÷22.68kg=約2,916本、に相当するCO2吸収量を削減

FPCO public Relation group